

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和5年度～令和7年度）
研究開発課題名	新医薬品創出に資する生体高分子局所構造の低分子模倣技術の開発
代表機関名	大分大学
研究開発代表者名	松岡 茂

総合評価：優れている

【評価コメント】

本研究は、計算機化学、有機合成化学、生化学、構造生物学などの異分野融合を推進し、従来の座標依存的な分子設計手法に代わり、分子の位置や方向に依存せず三次元形状情報を直接活用する新たな設計アプローチを確立した点が評価できる。さらに、本手法を用いてブレオマイシン誘導肺線維症モデルにおける病態改善効果や抗 SARS-CoV-2 活性を有する化合物を見いだしており、その有効性を実証したことは意義深い。また、得られた成果を基盤として、アカデミア、スタートアップ企業、事業会社が連携する研究開発体制を構築し、特許出願やライセンス契約へと展開しており、社会実装を目指して研究を推進している点も評価できる。

今後は、有効性および安全性のさらなる検証を進めるとともに、知財戦略や企業連携を活かした開発を推進し、実用化へ発展させることを望む。

以上